

幅

おん フク
はば

12画
幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅 幅

「つき出る」

なりたち 富の意味の幅と、布の意味の中とで作られた会意形声字。はばが広くゆつたりとした「豊かな布」を表した字で、「たつぷりしたはば」という意味から、単に「はば」の意味に使われている。



「みとじゆく」

▼はば 横の長さ。
幅員：艦船や、道・橋などの
はば。
全幅：はばいっぱい。あらん
限り。【用例】全幅の信頼を寄
せる。

振幅：振動のはば。中央から
振動の最大の部分まで。
▼ふち。へり。うわべ。
辺幅：うわべ。外観。【用例】辺
幅を飾らない人。

▼掛け物。また、掛け物の数
をかぞえる時に使うことは、
書幅：字を書いた掛け物。
画幅：絵をかいた掛け物。
三幅対：三つで一組になった
掛け物。

よみかた 幅跳び・半幅・横幅
幅を利かせる「実
力があって、自由にふるまう」
さんこう

中

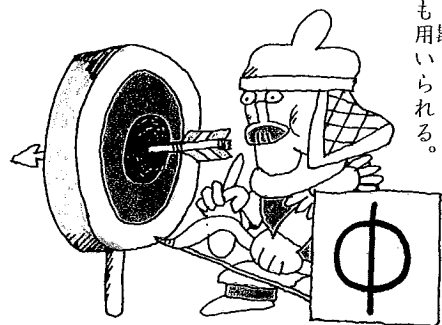
おん チュウ
なか

1年

4画
丨 冂 口 中

「まっすぐに」

なりたち 物のまん中をつらぬき通した形の字で、「なか」という意味を表したものの。矢が的をつらぬいた形でもあるから、「あたる」という意味にも用いられる。



幅副

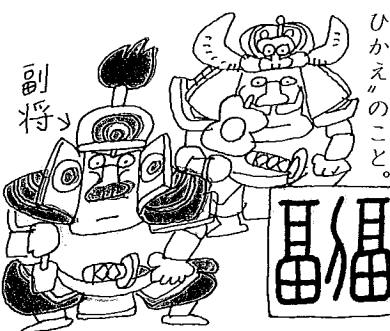
副

おん フク
はねる

11画
一 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 副

「はねる」

なりたち 富の意味の幅と、刀の意味のりとで作られた会意形声字。財産を二つに分けること。半分は万に備えておくのである。「予備のもの」ひかえのこと。



「みとじゆく」

▼そえて、補助とするもの。
副業：主な職業のほかにする
別の仕事。【用例】農家の副業。
【反】本業。
副題：表題にそえてつける題。
副読本：正式の読本の補助と
して用いる本。

副食：主食にそえて出すおか
ず。【反】主食
副手：助手の下で研究などを
手伝う人。
副将：主将の次の地位の人。
▼つけ加わる。
副産物：ある物事に伴って生
まれたもの。

副作用：ある業を用いる事に
よって起る本来とは別の
有害な働き。
よみかた 副会長・副議長・
副賞・副官・副詞・副次的・
副部長・正副

忠

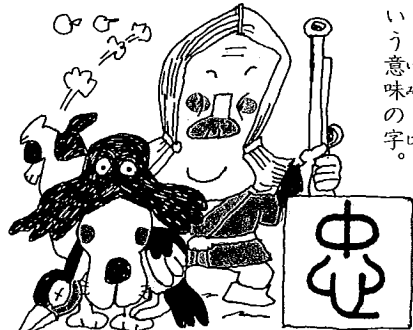
おん チュウ
はねる

6年

8画
丨 冂 口 中 忠

「はねる」

なりたち 中と心とで作られた会意形声字。心の奥底、欲などに汚されない美しい心を表したものの。「本心・真心」という意味の字。



「みとじゆく」

▼まごころ。まこと。
忠実：①まごころを込めてま
じめに務めること。②もた
ぬもの、できるだけちが
わぬように務めること。
【用例】忠実な翻訳。

忠告：まごころから出る、い
さめの言葉。
忠信：まごころを尽くして、
いつわりがないこと。
▼主人や国に対するまごころ。
自分の義務を果たそうとす
ること。

忠義：主君や国家にまごころ
を尽くして仕えること。
忠臣：忠義な家来。
忠勤：忠実に勤めること。
【用例】忠勤を励む。

不忠：忠義に反すること。
よみかた 忠犬・忠言・忠孝・
忠誠・忠節・尽忠・誠忠

中忠